



# Cisco DCNM のアップグレード

この章では、Cisco DCNM のアップグレードについて説明します。次の項を含みます。

- [Cisco DCNM リリース 11.5\(1\) へのアップグレード, on page 1](#)
- [インラインアップグレードを使用して ISO または OVA をアップグレードする \(2 ページ\)](#)
- [パフォーマンス マネージャ データをドロップする, on page 13](#)

## Cisco DCNM リリース 11.5(1) へのアップグレード

Cisco DCNM リリース 11.0(1) より前に、DCNM OVA、および ISO は SAN 機能をサポートしていました。Cisco DCNM リリース 11.3(1) 以降では、OVA と ISO 仮想アプライアンスの両方に SAN 展開用の Cisco DCNM をインストールできます。

次の表は、リリース 11.5(1) にアップグレードするために従う必要があるアップグレードのタイプをまとめたものです。

**Table 1: LAN ファブリック展開のアップグレードのタイプ**

現在のリリース番号	リリース <b>11.5(1)</b> にアップグレードするアップグレードタイプ
11.4(1)	インラインアップグレード
11.3(1)	インラインアップグレード
11.2(1)	インラインアップグレード
11.1 (1)	11.1(1) → 11.2(1) → 11.5(1) 11.1(1) → 11.3(1) → 11.5(1) 11.1(1) → 11.4(1) → 11.5(1) → インラインアップグレードを表します

# インラインアップグレードを使用して ISO または OVA をアップグレードする

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

Cisco DCNM をインストールするとき、デフォルトで自己署名付き証明書がインストールされています。ただし、最新の Cisco DCNM リリースにアップグレードした後は、証明書を復元する必要があります。



- (注) 証明書の復元は、破壊的なメカニズムです。アプリケーションを停止して再起動する必要があります。アップグレードされたシステムが安定している場合のみ、証明書を復元します。つまり、Cisco DCNM Web UI にログインできる必要があります。

アップグレード後に証明書を復元するには、[アップグレード後に証明書を復元する](#) を参照してください。

ここでは、インラインアップグレード方式を使用して DCNM をアップグレードする手順について説明します。



- (注) クラシック LAN 展開のアップグレードでは、DCNM リリース 11.5(1) にアップグレードすると、展開は自動的に LAN ファブリック展開モードに変換されます。

## スタンドアロンモードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレード

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

スタンドアロンモードで DCNM 仮想アプライアンスをアップグレードするには、次の作業を実行します。

### Before you begin

Cisco DCNM セットアップがクラスタモードの場合は、必ず Network Insights - Resources (NIR) 2.x アプリケーションを停止してください。Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] > [カタログ (Catalog)] を選択します。NIR アプリで、[停止 (Stop)] アイコンを

クリックしてアプリケーションを停止します。カタログからアプリケーションを削除するには、**[削除 (Delete)]** をクリックします。

## Procedure

**ステップ 1** Cisco DCNM アプライアンス コンソールにログインします。

**Caution** システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

- OVA のインストールの場合：ホスト用に展開された OVF テンプレートで、右クリックして **[設定 (Settings)] > [Web コンソールの起動 (Launch Web Console)]** を選択します。
- ISO のインストールの場合：KVM コンソールまたは UCS (ベア メタル) コンソールを選択します。

**Caution** SSHセッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

または

次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

**ステップ 2** **appmgr backup** コマンドを使用してアプリケーションデータのバックアップを取得します。

```
dcnm# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

**ステップ 3** **su** コマンドを使用して、/root/ ディレクトリにログオンします。

```
dcnm# su
Enter password: <<enter-password>>
[root@dcnm]#
```

**Note** ISO をディレクトリにマウントする前に、/root/ フォルダーにアクセスできることを確認します。

**ステップ 4** dcnm-va.11.5.1.iso.zip ファイルを解凍し、DCNM 11.5(1) ISO ファイルをアップグレードする DCNM セットアップ内の /root/ フォルダーにアップロードします。

**ステップ 5** **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
[root@dcnm]# mkdir /mnt/iso
```

**ステップ 6** /mnt/iso フォルダーのスタンドアロンセットアップに DCNM 11.5(1) ISO ファイルをマウントします。

```
mount -o loop <DCNM 11.5(1) image> /mnt/iso
```

```
[root@dcnm]# mount -o loop dcnm-va.11.5.1.iso /mnt/iso
```

**ステップ 7** /mnt/iso/packaged-files/scripts/ に移動して ./inline-upgrade.sh スクリプトを実行します。

```
[root@dcnm]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm# ./inline-upgrade.sh
Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.5(1)? [y/n]: y
```

**Note** Cisco DCNM リリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい sysadmin パスワードを入力するように求められます。

**ステップ 8** プロンプトで新しい sysadmin ユーザー パスワードを入力します。

**Note** Cisco DCNM リリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい sysadmin パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH\root アクセスはデフォルトで無効になっています。sysadmin ユーザーを使用します。

11.2(1) および 11.3(1) でサポートされている Elasticsearch バージョンは、11.5(1) でサポートされている Elasticsearch と互換性がないため、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に Elasticsearch データのインデックスを再作成する必要があります。

次のメッセージが生成されます。

```
*****
WARNING: Elasticsearch indices for historical Performance Monitoring (PM)
data need to be reindexed manually.
Check DCNM installation and upgrade guide for more details.
*****
```

確認メッセージが表示されます。[y] を入力して、アップグレードを続行してください。

アップグレードの完了後に、システムがリブートします。

**ステップ 9** appmgr status all コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
[root@dcnm]# appmgr status all
```

**ステップ 10** Cisco DCNM リリース 11.5(1) が正常にインストールされていることを確認するには、appmgr show version コマンドを使用します。

```
[root@dcnm]# appmgr show version

Cisco Data Center Network Manager
Version: 11.5(1)
Install mode: LAN Fabric
Standalone node. HA not enabled.
```

**ステップ 11** exit コマンドを使用して、screen セッションを終了します。

```
[root@dcnm]# exit
```

**ステップ 12** DCNM セットアップのすべての計算ノードから dcnm-va-patch.11.5.1.iso ファイルをアンマウントします。

**Note** `.iso` ファイルをマウント解除する前に、`screen` セッションを終了する必要があります。

```
[root@dcnm]# umount /mnt/iso
```

### What to do next

適切なクレデンシアルを使用して DCNM Web UI にログオンします。



**Note** リリース 11.3(1) では、`sysadmin` と `root` ユーザーのパスワードは同一ではありません。11.5(1) にアップグレードすると、`sysadmin` および `root` ユーザーのパスワードは保持されます。

ただし、アップグレード後に Cisco DCNM でバックアップと復元を実行すると、`sysadmin` ユーザーは `root` ユーザーからパスワードを継承するため、両方のユーザーが同じパスワードを持ちます。復元が完了したら、両方のユーザーのパスワードを変更できます。

[設定 (Settings)] アイコンをクリックし、[DCNM の詳細 (About DCNM)] を選択します。展開したインストールタイプを表示して確認できます。

古い PM データは Elasticsearch に保持されます。Elasticsearch は、Cisco DCNM Web UI、[ダッシュボード (Dashboard)]、[ヘルス (Health)] と [管理 (Administration)]、[DCNM サーバ (DCNM Server)]、[サーバステータス (Server Status)] の順に選択すると、再インデックスが必要と表示されます。

リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.3(1) またはリリース 11.4(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.5 \(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。

## ネイティブ HA モードでの DCNM 仮想アプライアンスのインラインアップグレード

既存の DCNM に新しい DCNM を提供することで、インラインアップグレードで DCNM をアップグレード可能になります。インラインアップグレード後、DCNM アプリケーションを起動する前にブラウザ キャッシュを消去するようにしてください。

ネイティブ HA モードで DCNM 仮想アプライアンスをアップグレードするには、次の作業を実行します。

## Before you begin

- Cisco DCNM アクティブ ピアとスタンバイ ピアの両方が稼働していることを確認します。
- クラスタ モードで Cisco DCNM をアップグレードする前に、Network Insights - Resources (NIR) 2.x アプリケーションを停止します。Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] > [カタログ (Catalog)] を選択します。NIR アプリで、[停止 (Stop)] アイコンをクリックしてアプリケーションを停止します。カタログからアプリケーションを削除するには、[削除 (Delete)] をクリックします。



**Note** クラスタ モードでの Cisco DCNM のインラインアップグレードは、リリース 11.2(1) 以降でサポートされています。リリース 11.1(1) では、クラスタ モードの DCNM のインラインアップグレードはサポートされていません。

- `appmgr show ha-role` コマンドを使用して、アクティブ サーバとスタンバイ サーバが動作していることを確認します。

例:

アクティブ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm1# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

スタンバイ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

## Procedure

**ステップ 1** `dcnm-va.11.5.1.iso.zip` ファイルを解凍し、DCNM 11.5(1) ISO ファイルを `/root/` フォルダに、アップグレードする DCNM セットアップの Active と Standby ノードの両方でアップロードします。

**Note** 例えば、アクティブおよびスタンバイ アプライアンスを `dcnm1` および `dcnm2` に個別に示します。

**ステップ 2** Cisco DCNM アプライアンス コンソールにログインします。

**Caution** システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

- OVA のインストールの場合：ホスト用に展開された OVF テンプレートで、右クリックして [設定 (Settings)] > [Web コンソールの起動 (Launch Web Console)] を選択します。
- ISO のインストールの場合：KVM コンソールまたは UCS (ベア メタル) コンソールを選択します。

**Caution** SSHセッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

または

次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm1# screen
dcnm2# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

**ステップ 3** アクティブおよびスタンバイの両方のアプライアンスで **appmgr backup** コマンドを使用して、アプリケーションデータのバックアップを取得します。

```
dcnm1# appmgr backup
dcnm2# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

**ステップ 4** **su** コマンドを使用して、**/root/** ディレクトリにログオンします。

```
dcnm1# su
Enter password: <<enter-password>>
[root@dcnm1]#

dcnm2# su
Enter password: <<enter-password>>
[root@dcnm2]#
```

**Note** ISO をディレクトリにマウントする前に、**/root/** フォルダにアクセスできることを確認します。

**ステップ 5** アクティブノードで、インラインアップグレードを実行します。

a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
[root@dcnm1]# mkdir /mnt/iso
```

b) DCNM 11.5(1) ISO ファイルを **/mnt/iso** フォルダで Active ノードにマウントします。

```
[root@dcnm1]# mount -o loop dcnm-va.11.5.1.iso /mnt/iso
```

c) **/mnt/iso/packaged-files/scripts/** に移動し、**./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
[root@dcnm1]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm1# ./inline-upgrade.sh
```

**Note** 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスが停止することを示すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、**y** を押して続行します。

```
[root@dcnm1]# Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.5(1)?
[y/n]: y
```

- d) プロンプトで新しい `sysadmin` ユーザー パスワードを入力します。

**Note** Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい `sysadmin` パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH\root アクセスはデフォルトで無効になっています。 `sysadmin` ユーザーを使用します。

11.2(1) および 11.3(1) でサポートされている Elasticsearch バージョンは、11.5(1) でサポートされている Elasticsearch と互換性がないため、リリース 11.5(1) にアップグレードする前に Elasticsearch データのインデックスを再作成する必要があります。

次のメッセージが生成されます。

```
*****
WARNING: Elasticsearch indices for historical Performance Monitoring (PM)
data need to be reindexed manually.
Check DCNM installation and upgrade guide for more details.
*****
```

確認メッセージが表示されます。 `[y]` を入力して、アップグレードを続行してください。

アップグレードの完了後に、システムがリブートします。

- e) `appmgr status all` コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
[root@dcnm1]# appmgr status all
```

**Note** スタンバイ ノードのアップグレードに進む前に、すべてのサービスが Cisco DCNM アクティブ ノードで稼働していることを確認します。

- f) `appmgr show ha-role` コマンドを使用して、アクティブ ノードのロールを確認します。現在のロールはアクティブとして表示される必要があります。

```
[root@dcnm1]# appmgr show ha-role
```

```
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

**Warning** アクティブ ノードの現在のロールがアクティブでない限り、スタンバイ ノードのアップグレードを続行しないことをお勧めします。

**ステップ 6** スタンバイ ノードで、インラインアップグレードを実行します。

- a) `mkdir /mnt/iso` コマンドを使用して、`iso` という名前のフォルダを作成します。

```
[root@dcnm2]# mkdir /mnt/iso
```

- b) DCNM 11.5(1) ISO ファイルを `/mnt/iso` フォルダーで Standby ノードでマウントします。

```
[root@dcnm2]# mount -o loop dcnm-va.11.5.1.iso /mnt/iso
```



- c) `/mnt/iso/packaged-files/scripts/` に移動し、`./inline-upgrade.sh` スクリプトを実行します。

```
[root@dcnm2]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
dcnm2# ./inline-upgrade.sh --standby
```

**Note** 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスが停止することを示すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、[y]を押して続行します。

```
[root@dcnm2]# Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.5(1)?
[y/n]: y
```

- d) プロンプトで新しい `sysadmin` ユーザー パスワードを入力します。

**Note** Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい `sysadmin` パスワードを入力するように求められます。

```
Enter the password for the new sysadmin user: <<sysadmin_password>>
Enter it again for verification: <<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。再起動後、SSH\root アクセスはデフォルトで無効になっています。`sysadmin` ユーザーを使用します。

アップグレードが完了すると、アプライアンスが再起動します。次のコマンドを使用して、アプライアンスのロールを確認します。

```
[root@dcnm2]# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

- ステップ 7** `exit` コマンドを使用して、`screen` セッションを終了します。

```
[root@dcnm1]# exit
[root@dcnm2]# exit
```

- ステップ 8** DCNM セットアップのアクティブ ノードとスタンバイ ノードの両方で `dcnm-va-patch.11.5.1.iso` ファイルをアンマウントします。

**Note** `.iso` ファイルをマウント解除する前に、`screen` セッションを終了する必要があります。

```
[root@dcnm1]# umount /mnt/iso
[root@dcnm2]# umount /mnt/iso
```

---

## What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログオンします。



**Note** リリース11.3(1) では、sysadmin と root ユーザーのパスワードは同一ではありません。11.5(1) にアップグレードすると、sysadmin および root ユーザーのパスワードは保持されます。

ただし、アップグレード後にCisco DCNMでバックアップと復元を実行すると、sysadmin ユーザーはrootユーザーからパスワードを継承するため、両方のユーザーが同じパスワードを持ちます。復元が完了したら、両方のユーザーのパスワードを変更できます。

**[設定 (Settings)]** アイコンをクリックし、**[DCNM の詳細 (About DCNM)]** を選択します。展開したインストールタイプを表示して確認できます。

古いPMデータはElasticsearchに保持されます。Elasticsearchは、Cisco DCNM Web UI、**[ダッシュボード (Dashboard)]**、**[ヘルス (Health)]** と**[管理 (Administration)]**、**[DCNMサーバ (DCNM Server)]**、**[サーバステータス (Server Status)]**の順に選択すると、再インデックスが必要と表示されます。

Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

を使用して、両方のアプライアンスのロールを確認します。 **appmgr show ha-role**

```
dcnm1# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

**appmgr status all** コマンドを使用して、すべてのアプリケーションのステータスを確認します。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.3(1) またはリリース 11.4(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.5 \(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。

## DCNM コンピューティングノードのインラインアップグレード

DCNM コンピューティングノードをリリース 11.2(1) またはリリース 11.3(1) またはリリース 11.4(1) からリリース 11.5(1) へインラインアップグレードを使用してアップグレードできます。インラインアップグレードでは、新しいDCNMバージョンを既存のコンピューティングノードに強制することによって、コンピューティングノードをアップグレードできます。



**Note** Cisco DCNM リリース 11.3(1) の Cisco アプリケーション サービスのコンピューティングノードをリリース 11.5(1) へインラインアップグレード手順を使用してアップグレードできます。詳細については、『<https://www.cisco.com/c/en/us/support/data-center-analytics/nexus-dashboard/products-installation-guides-list.html>』を参照してください。

スタンドアロンとネイティブの両方の HA モードで DCNM コンピューティング ノードをアップグレードするには、次の作業を実行します。

### Before you begin

DCNM コンピューティング ノードをアップグレードする前に、スタンドアロン ノードまたはネイティブ HA モードのいずれかの Cisco DCNM サーバをリリース 11.5(1) にアップグレードする必要があります。

### Procedure

**ステップ 1** Cisco DCNM コンピューティング コンソールにログオンします。

**Caution** SSHセッションからインラインアップグレードを実行しないでください。セッションがタイムアウトし、アップグレードが不完全になることがあります。

**Caution** システム要件が最小リソース要件を満たしていない場合、コンソールまたは SSH 経由で DCNM にログオンするたびに、**SYSTEM RESOURCE ERROR** が表示されます。コンソール/SSH 経由で DCNM にシステム要件のログオンを変更します。

または

次のコマンドを実行して、コンピューティング ノードにスクリーンセッションを作成します。

```
dcnm-compute# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されない場合や切断された場合でも実行され続けます。

**ステップ 2** dcnm-va.11.5.1.iso.zip ファイルを解凍し、DCNM 11.5(1) ISO ファイルをすべてのコンピューティング ノードの root/ フォルダにアップロードします。

**ステップ 3** すべてのコンピューティングで **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
dcnm-compute# mkdir /mnt/iso
```

**ステップ 4** DCNM 11.5(1) ISO ファイルを /mnt/iso フォルダのコンピューティング ノードでフォルダにマウントします。

```
mount -o loop <DCNM 11.5(1) image> /mnt/iso
```

```
dcnm-compute# mount -o loop dcnm-va.11.5.1.iso /mnt/iso
```

すべてのコンピューティング ノードに ISO をマウントします。

**ステップ 5** /mnt/iso/packaged-files/scripts に移動して **./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
dcnm-compute# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts
```

```
dcnm-compute# ./inline-upgrade.sh --task-disable updatePoapUser
```

```
dcnm-compute# ./inline-upgrade.sh
```

```
Do you want to continue and perform the inline upgrade to 11.5(1)? [y/n]: y
```

**Note** 一部のサービスがまだ実行されている場合は、サービスを停止するように促すプロンプトが表示されます。プロンプトが表示されたら、**y** を押して続行します。

**Note** Cisco DCNM リリース 11.1(1) またはリリース 11.2(1) からアップグレードする場合にのみ、新しい `sysadmin` パスワードを入力するように求められます。

**ステップ 6** プロンプトで新しい `sysadmin` ユーザー パスワードを入力します。

```
Enter the password for the new sysadmin user:<<sysadmin_password>>
Enter it again for verification:<<sysadmin_password>>
```

アップグレードが完了すると、コンピューティング ノードが再起動します。再起動後、SSH \root アクセスはデフォルトで無効になっています。 `sysadmin` ユーザーを使用します。

**ステップ 7** `appmgr show version` コマンドを使用して、Cisco DCNM リリース 11.5(1) へのアップグレードが正常に行われたことを確認します。

```
dcnm-compute# appmgr show version

Cisco Data Center Network Manager
Version: 11.5(1)
Install mode: Compute
```

**ステップ 8** すべての計算ノードで `exit` コマンドを使用して、`screen` セッションを終了します。

```
dcnm-compute# exit
```

**ステップ 9** DCNM セットアップのすべての計算ノードから `dcnm-va-patch.11.5.1.iso` ファイルをアンマウントします。

**Note** `.iso` ファイルをマウント解除する前に、`screen` セッションを終了する必要があります。

```
dcnm-compute# umount /mnt/iso
```

---

### What to do next

クラスタ内の3つのコンピューティングノードすべてをアップグレードする必要があります。

アップグレードプロセスが完了すると、各コンピューティングノードが再起動し、自動的にクラスタに参加します。Cisco DCNM Web UI で、[アプリケーション (Applications)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択して、コンピューティングノードが [結合済み (Joined)] として表示されるかどうかを確認します。

Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレード後に Cisco Nexus 9000 スイッチを構成する Cisco DCNM リリース 11.3(1) またはリリース 11.4(1) 管理対象 VXLAN BGP EVPN ファブリックを正常にオンボードするには、「[VXLAN BGP EVPN、外部、および MSD ファブリックの DCNM 11.5 \(1\) アップグレード後](#)」を参照してください。

# パフォーマンス マネージャ データをドロップする



**Note** リリース 11.5(1) にアップグレードするときに Performance Manager データを保存することを選択した場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けることを推奨します。

Performance Manager (PM) データをドロップするには、次の手順を実行します。

## Before you begin

- DCNM アプライアンスが動作していることを確認します。（スタンドアロンのアップグレード向け）
- フェデレーションを設定している場合は、DCNM フェデレーション設定のすべてのノードが動作していることを確認します。（フェデレーションセットアップ向け）

## Procedure

**ステップ 1** SSH セッションを起動し、次のコマンドを実行して PMDB インデックスを表示します。

Performance Manager データベースの PMDB インデックスを特定します。

次に例を示します。

```
dcnm-root-11-4# curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb

% Total    % Received % Xferd  Average Speed   Time    Time     Time  Current
           Dload  Upload   Total     Spent    Left     Speed
100 2448    100 2448    0      0  4523      0  --:--:--  --:--:--  --:--:--  4524
green open  pmdb_cpumemdata          rb-CJf-NR0my8M3mO-7QkA 5 1  7286    0
1.4mb 760.2kb
green open  pmdb_ethintfratedata      P18gMKdPTkCODv0TomYAdw 5 1  9283    0
2.4mb  1.2mb
```

「pmdb\_」というプレフィックスが付いたインデックスが表示されます。

**ステップ 2** Cisco DCNM Web UI で、[管理 (Administration)] > [パフォーマンスの設定 (Performance Setup)] > [LAN コレクション (LAN Collection)] を選択します。

すべてのスイッチとコレクションを無効にするには、すべてのチェックボックスをオフにし、[適用 (Apply)] をクリックします。

Administration / Performance Setup / LAN Collections

For all selected licensed LAN Switches collect:  Trunks  Access  Errors & Discards  Temperature Sensor

Performance Default Polling Interval 5 Mins

- Fab-1-externalfab
  - 9k\_aragon
  - C93108TC-FX\_116
  - C93108TC-FX\_41
  - n3k\_72
  - N77-TGEN-195
  - N9k\_27
  - N9K-C9232C\_28
  - N9K-C9364C\_49
  - N9K-C9504\_44
  - sugarbowl\_56
  - suharbowl\_57
- Fab-2-ClassicLAN
  - N3k\_Utopia\_70
  - switch
- Fab3-otherswitches
  - IND13-P1-A1
  - N6K-96Q-63
- test
- Default\_LAN

**ステップ 3** [管理 (Administration)] > [DCNM サーバ (DCNM Server)] > [サーバステータス (Server Status)] を選択します。

**ステップ 4** **Performance Collector** サービスに対して、[アクション (Actions)] 列の停止アイコンをクリックして、データ収集を停止します。

DCNM Server	Actions	Service Name	Status
localhost		Database Server	Running
10.106.228.37	▶ Re-init Elasticsearch DB Schema	dexer	Last updated: 2020-12-13 16:30:00
10.106.228.37	▶ [Red Square Icon] [Trash Icon] [Refresh Icon]	Performance Collector	Stopped
10.106.228.37	▶ Stop Service [Clean up PM DB stale entry(s)]	Agent	Running
10.106.228.37		Elasticsearch	Status:yellow, Docs: pmdb_*=0
0.0.0.0:123		NTPD Server	Running
0.0.0.0:67		DHCP Server	Running
0.0.0.0:2162		SNMP Traps	Running
0.0.0.0:514		Syslog Server	Running

**ステップ 5** 削除アイコンをクリックして、Performance Manager データベースを消去します。

このアクションにより、Performance Manager データベース内の古いエントリが削除されます。

**ステップ 6** [再初期化 (reinitialize) ]アイコンをクリックして、Elasticsearch データベーススキーマのインデックスを再作成します。

この操作は、Elasticsearch データベースの Performance Manager データを消去し、Performance Manager を再起動します。完了するまで数分かかる場合があります。

**ステップ 7** [Continue] をクリックします。

Performance Collector サービスのステータスが [停止 (Stopped) ] と表示されます。

**ステップ 8** 次のコマンドを使用して、すべての PMDB エントリを削除したことを確認します。

- リリース 11.1(1) からのアップグレード用  
**curl https://127.0.0.1:33500/\_cat/indices?pretty | grep pmdb**
- リリース 11.2 (1) からのアップグレード  
**curl https://127.0.0.1:33500/\_cat/indices?pretty | grep pmdb**
- リリース 11.3 (1) からのアップグレード用  
**curl http://127.0.0.1:33500/\_cat/indices?pretty | grep pmdb**
- リリース 11.4(1) からのアップグレード用  
**curl http://127.0.0.1:33500/\_cat/indices?pretty | grep pmdb**

次に例を示します。

```
dcnm-root-11-4# curl http://127.0.0.1:33500/_cat/indices?pretty | grep pmdb

% Total    % Received % Xferd  Average   Speed  Time     Time     Time  Current
           Dload    Upload   Total     Spent    Left     Speed
100  2244    100  2244     0     0   3638         0  ---:---:--  ---:---:--  ---:---:--  3636
```

**ステップ 9** DCNM のリリース 11.5(1) へのアップグレードに進みます。

---



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。